

(2) 入院中の精神障害者の地域生活への移行

18.6.30現在の退院可能精神障害者数	1,000人
目標値 平成23年度末までの退院者数	835人

退院者数実績(19~22年度累計)

1,370人 (164.1%)
-----------------

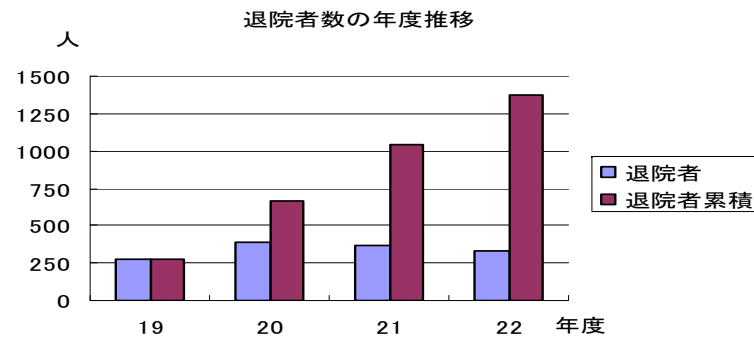
地域生活移行者数 (19~22年度累計)

899人
------

<退院先の状況>  
【平成22年度】

退院後の住まいの場	人数	割合	退院後の住まいの場	人数	割合	
家庭	(同居)	127人	38.3%	老人関係施設	103人	31.0%
	(単身)	31人	9.3%			
アパート	11人	3.3%	知的障害者施設	0人	0.0%	
グループホーム・ケアホーム	31人	9.3%	その他・不明	13人	3.9%	
生活訓練施設・福祉ホーム	16人	4.8%	計	332人	100.0%	

※1 県内の精神科病院に1年以上入院していた患者で、平成22年4月1日から23年3月末までの1年間に退院した者について、精神科病院を対象に調査を実施  
 ※2 退院した患者1,509人のうち、家族の受入困難や生活の場の確保が困難などの社会的要因により入院していたものは436人で、そのうち、死亡、他の病院へ転院した104人を除くと332人となり、さらに施設・不明その他の116人を除く216人が地域生活に移行



【第2期計画期間の実績評価】

【現状と課題】

精神障害者地域移行支援特別対策事業等の推進により、受け入れ条件が整えば退院可能な精神障害者(退院可能精神障害者)の退院は目標を上回り、毎年度、着実に進んでいると考えられる。しかしながら、この計画における目標値とその実績の評価方法は、必ずしも各年度における退院可能精神障害者の減少数を表しておらず、現状において、退院可能精神障害者の実数は把握されていないため、評価手法において再考の余地がある。

【今後の取組の方向性】

第3期計画では、まず、各年度の退院可能精神障害者の実数を把握し、評価することができるようにすることが必要である。  
 地域移行に対する取組としては、対象者に対して入院中から地域での生活を想定した一貫したコーディネートを行う必要がある一方、受け入れる地域においては、未だ精神障害に対する理解は十分ではないと思われるので、一層の理解の促進策を講ずる必要がある。  
 また、身体や知的の障害のある方と同じように、精神障害のある方が住まいの場や活動の場などを確保し、相談支援を十分利用できるよう、サービス提供基盤を計画的に整備していくことが必要である。

【平成21年度】

退院後の住まいの場	人数	割合	退院後の住まいの場	人数	割合	
家庭	(同居)	107人	28.9%	老人関係施設	119人	32.2%
	(単身)	37人	10.0%			
アパート	19人	5.1%	知的障害者施設	3人	0.8%	
グループホーム・ケアホーム	34人	9.2%	その他・不明	24人	6.5%	
生活訓練施設・福祉ホーム	27人	7.3%	計	370人	100.0%	

※1 県内の精神科病院に1年以上入院していた患者で、平成21年4月1日から22年3月末までの1年間に退院した者について、精神科病院を対象に調査を実施  
 ※2 退院した患者1,457人のうち、家族の受入困難や生活の場の確保が困難などの社会的要因により入院していたものは476人で、そのうち、死亡、他の病院へ転院した106人を除くと370人となり、さらに施設・不明その他の146人を除く224人が地域生活に移行

【平成20年度】

退院後の住まいの場	人数	割合	退院後の住まいの場	人数	割合	
家庭	(同居)	150人	38.7%	老人関係施設	89人	22.9%
	(単身)	30人	7.7%			
アパート	34人	8.8%	知的障害者施設	5人	1.3%	
グループホーム・ケアホーム	17人	4.4%	その他・不明	21人	5.4%	
生活訓練施設・福祉ホーム	42人	10.8%	計	388人	100.0%	

※1 県内の精神科病院に1年以上入院していた患者で、平成20年4月1日から21年3月末までの1年間に退院した者について、精神科病院を対象に調査を実施  
 ※2 退院した患者1,544人のうち、家族の受入困難や生活の場の確保が困難などの社会的要因により入院していたものは487人で、そのうち、死亡、他の病院へ転院した99人を除くと388人となり、さらに施設・不明その他の115人を除く273人が地域生活に移行

【平成19年度】

退院後の住まいの場	人数	割合	退院後の住まいの場	人数	割合	
家庭	(同居)	101人	36.1%	老人関係施設	82人	29.3%
	(単身)	43人	15.3%			
アパート	9人	3.2%	知的障害者施設	3人	1.1%	
グループホーム・ケアホーム	18人	6.4%	その他・不明	9人	3.2%	
生活訓練施設・福祉ホーム	15人	5.4%	計	280人	100.0%	

※1 県内の精神科病院に1年以上入院していた患者で、平成19年4月1日から20年3月末までの1年間に退院した者について、精神科病院を対象に調査を実施  
 ※2 退院した患者1,043人のうち、家族の受入困難や生活の場の確保が困難などの社会的要因により入院していたものは363人で、そのうち、死亡、他の病院へ転院した83人を除くと280人となり、さらに施設・不明その他の94人を除く186人が地域生活に移行